

平成28年度 基本評価調書

施策名	農村活性化対策の推進	所管部局	農政部	作成責任者	農政部長 土屋 俊亮	施策コード	06	05
		照会先	農政部農村振興局農村設計課 農村企画グループ(内線27-874)	関係課	農村振興局農村設計課 ほか			

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

1 目標等の設定(その1)

総合計画等の位置づけ	総計	大項目(分野)	中項目(政策の柱)	小項目(政策の方向性)			総合計画の指標	
		2	経済・産業	(1) 農林水産業の持続的な成長	潜在力のフル発揮で地域の経済・社会を支える農業・農村づくり			-
	北海道創生総合戦略	A3141, A3142, A4111		北海道 強化計画	B6221	新・北海道 ビジョン	C00512, C01101, C01206 C01207, C05908, C08706	
	特定分野別計画等	北海道農業農村振興推進計画、北海道農業農村整備推進方針						
現状と課題	<p>・農村地域は、食料生産の場であるのみならず、自然環境の保全、良好な景観の形成、文化の継承など重要な役割を有しているものの、過疎化、高齢化の進行等により、持続的な生産活動や維持管理活動が低下しているばかりでなく、地域の活力が低下しており、その対策が必要とされている。</p> <p>・また、TPP協定などの国際貿易交渉や国の農政の見直しが進められるなど情勢が大きく変化する中で、本道農業・農村に対する道民の理解の促進が一層重要な課題となっている。</p>			施策目標	<p>・地域の創意工夫と特色ある資源を活かした農村地域の活性化の促進</p> <p>・農業・農村が有する多面的機能の発揮に向けた地域における共同活動の促進</p> <p>・本道農業・農村の役割・機能に対する道民意識の共有</p>			
施策の推進体制 (役割・取組等)	<p>(道、市町村等)</p> <p>・取組を先導する人材の育成と合わせて、保全活動や交流活動、アグリビジネスなどの実践を通じたノウハウの蓄積の促進</p> <p>・農業を核とした個性豊かな地域活性化に向けた取組の推進</p> <p>・本道農業・農村に対する道民の関心や、その重要性に対する理解の促進に向けた取組への支援</p> <p>・多面的機能支払制度の着実な推進、地域コミュニティ機能の発揮等による地域資源の維持・継承等</p> <p>・多様な地域資源の積極的活用による雇用と所得の創出</p> <p>・多様な分野との連携による都市農村交流や農村への移住・定住等</p>			<p>(国)</p> <p>・都市農村交流や農村への移住・定住等を促進するための交付金等の確保</p> <p>・多面的機能支払交付金等、地域の共同活動の取組により地域の活性化に必要な予算の確保</p> <p>(民間)</p> <p>・農業体験の実施など農業・農村に訪れる機会の提供や、フォーラムの開催など理解を深める取組の実施</p>			施策の予算額	
							H27	15,428,849
							H28	15,154,412
H29	-							
今年度の主な取組	<p>農業・農村の多面的機能を支えるための地域資源(農地、水路、農道等)の基礎的保全活動や質的向上を図る活動に対する支援</p> <p>農業者自ら又は農業者と農業以外の者が連携して行う道民の理解を深めるための取組に対する支援</p> <p>全道的な視点に立って展開する農業・農村コンセンサスづくりの活動に対する支援</p> <p>農山漁村における定住や都市との地域間交流の促進</p> <p>地域の潜在力の調査と総合的な評価、戦略策定の支援</p> <p>農村が持つ価値や魅力を住民が再認識する機運の醸成とともに、農村づくりを担うコーディネーターの育成</p>							

Do & Check 施策評価

1 - 2 取組の結果

実 績 と 成 果 等		(関連する計画等)		
		総合戦略	強靱化	ビジョン
27年度は、多面的機能支払交付金により、147市町村、841組織において取組面積735千haを対象に、農用地、水路、農道等の地域資源の基礎的保全活動や水路、農道等の施設の軽微な補修、農村環境の保全等、地域の共同活動の取組が実施された。		A3141	B6221	C01206 C08706
都市住民との交流活動に意欲的な農業者が営む農場を「ふれあいファーム」として登録し、PRに努めており、9年度に取組を開始して以来、これまで951農場(28年3月末現在)が登録され、田植えや収穫、乳牛の搾乳などの農作業体験のほか、バターやそば打ちなどの手づくり体験、農産物の直売等、農業者の創意と工夫をこらした様々な取組が行われている。		A3142		C01101
全道的な視点に立って展開する農業・農村コンセンサスづくりの活動(フォーラム・セミナー等)に対する支援や地域づくりに取り組む全道の優良事例集を作成し、関係機関・団体等へ配布を行った。配布数 1,000部(平成27年度)		A3142		C01207 C05908
農山漁村における定住や都市との地域間交流の促進のため、農山漁村振興交付金(農山漁村地域活性化整備対策)において、8地区の新規計画が策定された。(平成27年度)		A3141		
教育旅行の受入拡大について、ニーズを反映した体験プログラムの提案や負担軽減受入モデルの試行など、実践に向けた現地研修会等を実施し、受入地域の意識醸成を図った。栗山町において負担軽減対策に向けた検討会を実施。また八雲町において受入実践者による勉強会を実施。(平成27年度)		A4111		C01207
農村地域における所得向上を図るため、活性化している農村のモデルケースを選定し、その具体的な取組を紹介。「地域資源を活かした農村づくり事業」において、地域資源の聞き取り調査を実施するとともに、地元のキーパーソンを含めた関係者と将来構想に向けた検討会等を行い、取組みの合意形成や気運の醸成を図った。		A3142		
(2) その他の取組の成果等				
国等提案・要望状況	<p>(多面的機能支払交付金) 近年の集落機能の低下により、農用地や水路等の維持管理が困難となり、多面的機能の発揮に支障が生じることが懸念されることから、道内のより多くの地域において活動に取り組むことができるよう、必要な予算の確保と地方財政措置の充実を図るよう農林水産省に要望した。(H28年8月)</p> <p>(農山漁村振興交付金) 農村地域の活性化とコミュニティ機能の維持・強化に資する都市と農村の交流活動に対する採択地区数(予算)の確保を要望。</p>	施策に関する道民ニーズ	<p>(多面的機能支払交付金) ・第5期北海道農業・農村振興推進計画の推進に当たっては、「本道の農業・農村を貴重な財産として将来に引き継いでいくため、農業・農村が、食料生産や就業の場としての機能のみならず、国土の保全や景観形成、人々の憩いや教育の場の提供等、多面的機能を有していることや、「食」の大切さについて、一層の道民理解の促進が図られるよう、食育や地産地消等の取組を強化すること。」について、十分配慮するよう答申された。(H28.2.22付け北海道農業・農村振興審議会)</p> <p>(教育旅行体験受入バックアップ事業、農山漁村振興交付金) ・第5期北海道農業・農村振興推進計画の推進に当たっては、「地域の特色ある資源を活用した農村づくりを推進するとともに、グリーン・ツーリズムなどの取組を通じた都市と農村の交流、農村への移住・定住を促進すること」について、十分配慮するよう答申された。(H28.2.22付け北海道農業・農村振興審議会)</p>	

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
---------------------------------------	-----------------

2 連携の状況

2 - 2 連携の取組状況

総合計画の位置付け	連携内容	連携先		取組の実績と成果
		施策コード	関係部・関係課	
	・都市住民との交流促進により農村の地域活性化を図るため、関係部と連携しながらグリーン・ツーリズム(滞在型余暇活動)を推進する。	N0504	経済部観光局	グリーン・ツーリズム関連調査情報等を観光局のホームページでも公開。
		-	農政部農政課	
	・農村集落の活性化を促進するため、関係部と連携しながら地域で互いに支えあうまちづくりを推進する。	-	総合政策部地域創生局地域政策課	事業の手法や成果、集落の現状などの情報を共有化している。

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

Do & Check 施策評価

3 成果指標の設定

3-2 成果指標の達成度合

関連指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H26	達成度合の分析 ほか
	基準年度	H25	年度	H28	最終年度	H32					
ふれあいファームに登録している農家の割合(%)	基準年度	H25	年度	H28	最終年度	H32	達成度合	A	評価年度	H26	達成度合の分析 ほか
	基準値	2.3	目標値	2.3	最終目標値	2.6					
〔指標の説明〕 総販売農家に占めるふれあいファームに登録している農家の割合	根拠計画		増減方向		達成率の算式		年度	H26	H27	進捗率	ふれあいファーム登録数が微増するとともに、総販売農家戸数が減少した。
	第5期農業・農村振興推進計画		増加		$\frac{(\text{実績値}) - (\text{基準値})}{(\text{目標値}) - (\text{基準値})} \times 100$		目標値	2.3	2.4	2.6	
						実績値	2.4	-	2.4		
						達成率	104.3%	-	92.3%		

関連指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか
	基準年度	H27	年度	H28	最終年度	H32					
多面的機能支払の取組面積(千ha)	基準年度	H27	年度	H28	最終年度	H32	達成度合	A	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか
	基準値	734	目標値	734	最終目標値	734					
〔指標の説明〕 多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動の取組面積	根拠計画		増減方向		達成率の算式		年度	H27	H28	進捗率	各活動組織において、地域の共同活動の取組が着実に実施された。
	第5期農業・農村振興推進計画		維持		$\frac{(\text{実績値})}{(\text{目標値})} \times 100$		目標値	734	734	734.0	
						実績値	735	-	735.0		
						達成率	100.1%	-	100.1%		

関連指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	D	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか
	基準年度	H25	年度	H28	最終年度	H32					
グリーン・ツーリズム関連施設数(件)	基準年度	H25	年度	H28	最終年度	H32	達成度合	D	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか
	基準値	2,527	目標値	2,614	最終目標値	2,730					
〔指標の説明〕 グリーン・ツーリズム関連施設の開設件数	根拠計画		増減方向		達成率の算式		年度	H27	H28	進捗率	教育旅行を受け入れているファームイン数の減少による。
	第5期農業・農村振興推進計画		増加		$\frac{(\text{実績値}) - (\text{基準値})}{(\text{目標値}) - (\text{基準値})} \times 100$		目標値	2585.0	2614.0	2730.0	
						実績値	2501.0	-	2501.0		
						達成率	-44.8%	-	91.6%		

関連指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合		評価年度		達成度合の分析 ほか
	基準年度		年度		最終年度						
	基準年度		年度		最終年度		達成度合		評価年度		達成度合の分析 ほか
	基準値		目標値		最終目標値						
〔指標の説明〕	根拠計画		達成率の算式		達成率の算式		年度	H27	H28	進捗率	
							目標値				
						実績値					
						達成率					

本施策に成果指標を設定できない理由	判定 (直近の達成率(%))	A 100以上	B 90以上100未満	C 80以上90未満	D 80未満	- 算定不可	結果
	主要指標						
	関連指標	2				1	課題あり

平成28年度 基本評価調書

施策名	農村活性化対策の推進	施策コード	06-05
-----	------------	-------	-------

Plan 事務事業の設定 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式2) Do and Check 事務事業評価

4 一次評価結果(各部局等による評価)

4 - 2 事務事業の評価

H28 整理番号	業務目標の設定(P)											事務事業評価(C)												
	指標	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	平成28年度					フルコスト	総合 戦略	強 靱 化	新・ 北 海 道 レ ジ ョ ン	重 点 事 業	地 域 重 点	一次政策評価								
					事業費 (千円)	本庁	出先 機関	人工計	人件費							重点点検事項				H27二次政策 評価意見	対応状況	運携事業 (整理番 号)	終 期	推 進 事 項
06010100	-	農業国際交流 推進事業費	青年農業者等の農業先進国への派遣研修や、視察者の受入れなどによる海外との交流推進	農政課	1,323	0.5	0.0	0.5	4,123	5,446												継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持
06010700	関	農業・農村コ ンセンサス形 成総合推進事 業費	農業者等が行う農業・農村に対する道民コンセンサスの形成に向けた取組への支援等	農政課	13,016	1.0	0.0	1.0	8,245	21,261												継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小
06010900	-	地域農業・農 村戦略策定推 進事業費	本道の農業・農村の持つ潜在力を最大限に発揮し、農村地域における所得向上を図るため、地域の潜在力の調査と総合的な評価を行い取組方を策定する。	農政課	4,000	0.5	0.0	0.5	4,123	8,123												終了	終了	終了
06011000	-	地域資源を活 かした農村つ くり促進事業 費	住民の主体的な農村づくりを促進するため、農村の多様な資源を調査し、農村が持つ価値や魅力を住民が再認識する機会を醸成するとともに、農村の将来構想づくりを支援し、あわせて、持続可能な農村づくりを担うコーディネーターの育成を図る。	農政課	3,000	0.5	0.0	0.5	4,123	7,123												終了	終了	終了
06090100	-	教育旅行体験 受入バック アップ事業費	教育旅行の受入体制整備に関する事務	農村設計課	1,299	0.5	1.0	1.5	12,368	13,667												継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小
06090200	-	農山漁村振興 交付金推進費	都市と農山漁村の共生・対流に関する講習会の開催、活動地区の調査、普及啓発	農村設計課	2,500	0.6	0.0	0.6	4,947	7,447												継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持
06090399	-	農山漁村振興 交付金(都市 農村共生・対 流及び地域活 性化対策)に 関する事務	農山漁村振興交付金(都市農村共生・対流及び地域活性化対策)の調整事務	農村設計課	0	0.7	0.1	0.8	6,596	6,596												-	継続(現状維持)	現状維持
06090499	-	地域資源を活 かした農村つ くり促進事業 に関する事務	地域資源調査や農村の将来構想づくりの支援・検討等	農村設計課	0	1.2	0.4	1.6	13,192	13,192												-	継続(現状維持)	現状維持
06090599	-	子ども農山漁 村交流プロ ジェクトに関 する事務	受入協議会の支援等	農村設計課	0	0.1	0.5	0.6	4,947	4,947												-	継続(現状維持)	現状維持

5 一次評価結果

	評価判定	成果指標の全体分析	施策全体に係る分析 (具体的成果・連携状況)	判定
主要指標				
関連指標	課題あり	<p><ふれあいファームに登録している農家の割合 (%) [A] > 施策の効果により、ふれあいファーム登録数が微増するとともに、総販売農家戸数が減少した。</p> <p><多面的機能支払の取組面積 [A] > ・各活動組織において、地域の共同活動の取組が着実に実施された。</p> <p><グリーン・ツーリズム関連施設数 [D] > ・ファームインにおいて、主に修学旅行などの教育旅行を受入れている農家が、高齢化等による理由で受入を中止することにより、関連施設数が減少した。</p>	<p>< 施策全体に対して、漏れなく有効な取組がなされているか > 多面的機能支払の取組、ふれあいファームの登録促進等の取組においては、効果的な取組を推進していることが認められる。 また、グリーン・ツーリズム関連施設については、教育旅行の受入拡大に関する、ニーズを反映した体験プログラムの提案や負担軽減受入モデルの試行など、実践レベルでの現地研修会を実施し、意識の醸成を図る取組を行った。</p> <p>< 施策を推進するに当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか > 多面的機能支払交付金については、必要な要望を国に対し行い、状況の進捗が認められる。</p> <p>< 道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立っているか > 北海道農業・農村振興審議会において、「第5期農業・農村振興推進計画」の推進に当たって十分配慮するよう答申された事項(グリーン・ツーリズムなどの取組を通じた都市と農村との交流、農村への移住・定住を促進すること)を、施策に反映させている。</p>	+ 評価

総合評価	課題等はあるが引き続き推進	評価の概要	指標の一部に改善を要するものがあるが、施策全体に係る分析がプラス評価であることから、評価は「課題等はあるが引き続き推進」とする。
------	---------------	-------	--

次年度に向けての課題と今後の方向性 (対応方針)			(関連する計画等)		
方針	課題	方向性	総合戦略	強靱化	ビジョン
	教育旅行の受入拡大のためには、若い世代への継承や女性の負担軽減などが必要であり、その対応策を検討する。また、交流人口の増加による地域の活性化を図るためには、地域ぐるみで取り組むことが必要であり、関係機関との連携の構築、ネットワークづくり、情報発信などに取り組む。		A4111		C01207 C05908
	農業・農村の有する多面的機能が今後とも適切に発揮されるよう、地域において共同で行う多面的機能を支える活動の着実な実施を図る。		A3141	B6221	C01206 C08706
	農業・農村に対する道民の理解を促進するため、農業者や農業者と農業関係以外の団体・教育関係機関などが連携して行う農村と都市住民の交流活動を支援するとともに、農業団体をはじめ関係機関・団体で構成する農業・農村ふれあいネットワークがマスメディアを活用して展開するPRに対して支援を行う。		A3142		C01101

施策名	農村活性化対策の推進	施策コード	06	05
-----	------------	-------	----	----

Check 施策評価

6 二次評価結果（知事による評価）

改善意見	【施策目標の達成状況(目標達成に向けてさらなる取組が必要)】 目標達成に遅れが見られる「都市と農村の交流」の促進に向け、関係部局と連携し、情報提供の充実や受入農家の負担軽減、若い世代への移行など、より実効性の高い取組となるよう検討すること。
------	---

平成28年度 基本評価調書

施策名	農村活性化対策の推進	施策コード	06 05
-----	------------	-------	-------

Check 事務事業評価 Action

7 二次評価結果（知事による評価）

整理番号	事務事業名	一次評価(平成29年度の方向性)(再掲)						二次政策評価			主な対応	
		重点点検事項			必要な見直し	予算	サービス	方向性	方向性	二次政策評価意見	方向性	H28二次評価意見への対応
		連携事業(整理番号)	終期なし	推進事項								
06010100	農業国際交流推進事業費					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06010700	農業・農村コンセンサス形成総合推進事業費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	見直し検討	農業・農村に対する道民の理解を促進するという条例の趣旨を踏まえ、事業の対象を消費者サイドにシフトするなど、事業内容の見直しについて検討すること。	縮小	消費者向け情報誌の配布先拡充・増設等事業内容の見直しを行った。
06010900	地域農業・農村戦略策定推進事業費					終了	終了	終了	終了		終了	
06011000	地域資源を活かした農村づくり促進事業費					終了	終了	終了	終了		終了	
06090100	教育旅行体験受入バックアップ事業費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		拡充	
06090200	農山漁村振興交付金推進費					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06090399	農山漁村振興交付金(都市農村共生・対流及び地域活性化対策)に関する事務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06090499	地域資源を活かした農村づくり促進事業に関する事務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		終了	
06090599	子ども農山漁村交流プロジェクトに関する事務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06090699	滞在型余暇活動に資するための機能の整備に関すること					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06090799	グリーンツーリズムの受入体制整備に関する事務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06090800	農山漁村振興交付金					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
06091199	農村振興の政策企画及び総合調整に関すること					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06092100	多面的機能支払事業費					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持	国に対し、地方負担が生じないよう、国負担のみで実施可能な制度とするよう強く要望すること。	現状維持	国に対し地方負担が生じないよう要望していく。
06092200	中山間地域等直接支払交付金					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持	国に対し、地方負担が生じないよう、国負担のみで実施可能な制度とするよう強く要望すること。	現状維持	国に対し地方負担が生じないよう要望していく。

整理番号	事務事業名	一次評価(平成29年度の方向性)(再掲)							二次政策評価		主な対応	
		重点点検事項			必要な見直し	予算	サービス	方向性	方向性	二次政策評価意見	方向性	H28二次評価意見への対応
		連携事業(整理番号)	終期なし	推進事項								
06092300	中山間地域等直接支払推進交付金					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06092499	耕作放棄地再生利用緊急対策の推進に関する事務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	

施策名	農村活性化対策の推進	施策コード	06	05
-----	------------	-------	----	----

Action 施策・事務事業評価

8 施策評価結果の反映（各部局等が実施）

（1）一次評価結果への主な対応

対応方針	主 な 対 応
	<新たな取組等> 地域における宿泊施設・飲食など、多様な業種の協力による新たな受入体制を整備し、農家の負担軽減に繋がる体験プログラムを検討するなどにより、グリーン・ツーリズムを推進する。
	<新たな取組等> 地域において共同で行う多面的機能を支える活動として、農地や農業用施設の基礎的な保全活動に取り組む地域が、28年度は面積が26千ha増加し、761千haと拡大した。29年度はさらに取組面積が11千ha増加し、772千haに拡大する計画。
	<新たな取組等> 農村と都市住民の交流活動を支援するため、農業・農村情報誌の発行部数を増やし、大学や観光案内施設に提供して農業・農村の理解を幅広く浸透させる。

（2）二次評価結果への主な対応

意見区分	主 な 対 応	意見区分	主 な 対 応
【施策目標の達成状況（目標達成に向けさらなる取組が必要）】	観光局や振興局関係課と連携し、農家のみならず、地域の多様な業種の協力による受入体制づくりを支援することにより、農家の負担軽減を図るとともに、魅力向上に繋がる体験プログラムの充実や農村の情報発信を行う。		

平成28年度 基本評価調書

施策名	農村活性化対策の推進	施策コード	06	05
-----	------------	-------	----	----

Action 施策・事務事業評価

9 事務事業評価結果（方向性）への対応状況（各部局等が実施）

（1）事務事業評価で示した方向性への対応状況

区分 \ 方向性	見直し検討	拡 充	現状維持	縮 小	統 合	廃 止	終 了	合 計
評価結果	1 事業	0 事業	12 事業	2 事業	0 事業	0 事業	2 事業	17 事業
反映結果	0 事業	1 事業	11 事業	2 事業	0 事業	0 事業	3 事業	17 事業

（2）次年度新たに実施する事業

次年度新規事業(予定)
0 事業